



全国学力・学習状況調査について

第3学年を対象に、令和3年5月27日(木)に実施された全国学力・学習状況調査(国語、数学、生徒質問紙)、及び第1・2学年を対象に、6月15日(火)に実施された福岡県学力調査の結果をお知らせします。また、この調査結果をもとに本校教育の成果と課題を分析し、今後の改善・充実のための取組をお知らせいたします。

1 全国学力・学習状況調査 福岡県学力調査とは

【 調査の目的 】

◇ 全国学力・学習状況調査

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てます。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立させるものです。

◇ 福岡県学力調査

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、県内各地域における児童生徒の学力の状況をきめ細かく把握・分析することにより、各学校が、児童生徒の学力の状況を把握し、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るものです。

【 調査の内容 】

	実施学年	調査内容・問題の種類	
全国学力・学習状況調査	第3学年	国語	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」に基づいて、全体を視野に入れながら、中心的に取り上げるものを精選した問題
		数学	基礎的・基本的な知識及び技能や、その知識及び技能が、問題解決をしていく過程でどのように用いられているかについて明確にした出題
		生徒質問紙	学校や家庭での生活の様子や国語・数学の興味関心等を選択式で問うアンケート。
福岡県学力調査	第1・2学年	国語	・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容を問う問題
		数学	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容を問う問題

以上の目的と内容を踏まえ、本校では学力状況調査問題を次のようにとらえています。

調査の結果は、生徒が身につけるべき全ての学力を示すものではなく、単に、正答率に注視することで終わるのではなく、現状の分析と今後の取組、例えば課題を解消するための授業指導技術の向上の大切な資料として活用します。また、学校だけの成果や課題で完結するのではなく、コミュニティ・スクールの強みを生かし、学校・家庭・地域の三者が協働して子ども達の学力向上に取り組んでいきます。

2 全国学力学習状況調査の正答率

国語については、全国平均とほぼ同じです。
数学については、全国平均とほぼ同じです。



3 分析と改善策

国語	分析	【成果】 ○本校の正答率が高かったのは、話し合いの話題や方向を捉えて話す内容を考える問題や書いた文章を読み返し、文章の構成の工夫を考える問題である。 ○漢字を読む小問1は正答率100%であり、また、全ての問題において無回答の生徒が全国平均よりも少なく、誠実に取り組む姿勢が見て取れた。 【課題】 ●文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ問題や相手や場に応じて敬語を適切に使う問題に課題がある。「読む」「話す」内容を授業の中で、丁寧に取り上げる必要がある。
	継続内容と改善点	☆現在取り組んでいる漢字の小テストや基礎学習プリントを今後も継続して行うことで、家庭学習の習慣化とともに、基礎・基本の更なる定着を図ります。 ☆読むことの領域で文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つことに課題が見られます。文章の内容を読み取る力をつけるために、基礎となる語彙力を伸ばす必要があります。また、「話す」力も伸ばすために、語句の意味を調べたり、短作文やスピーチをお互いに交流する中で適切な使い方を指摘し合ったりする活動を通して、多様な語句の意味を理解し、場面に応じて適切に使うことができる力を養っていきます。
数学	分析	【成果】 ○具体的な場面で、一元一次方程式をつくる問題については概ね理解できている。 ○関数については、与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に取り取り、身近なことから数学的にとらえ、問題解決の方法を説明することができる生徒が増加してきた。 ○資料の活用については、ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができ、相対度数の意味を理解できている。 【課題】 ●扇形の中心角と弧の長さや面積との関係についての理解に課題がある。 ●資料の活用について、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。
	継続内容と改善点	☆数の性質について成り立つ事柄の特徴を数学的に説明することができるようにするために、文字を用いて表した計算結果を事象と関連付けて説明する活動を継続していきます。 ☆どの単元においても、課題を解決するための見通しをもち、その見通しを基に根拠を明らかにして説明する活動を充実していきます。 ☆扇形の中心角と弧の長さや面積との関係の理解を深めることができるようにするために、扇形が円の一部分であり、その面積や弧の長さを何倍かすると、元の円になることを確認するなど、扇形の特徴を的確に捉える活動を取り入れていきます。 ☆資料の活用について、日常生活や社会における問題を取り上げ、その問題の解決のために収集したデータを整理したグラフの形から、分布の特徴を視覚的に捉えたり、代表値を求めて比較したりするなど、数学的な表現を用いて判断の理由を説明する活動を充実を図っていきます。

4 福岡県学力学習調査の正答率

【2学年】

国語については、県平均とほぼ同じです。根拠を明確にして書く問題は、県平均をやや上回っています。数学については、県平均とほぼ同じです。方程式を解く問題は、理解できている生徒が多かったです。

【1学年】

国語については、県平均とほぼ同じです。自分の考えをまとめる問題は、県平均を上回っています。数学については、県平均に達していません。分数の計算問題は、理解できている生徒が多かったです。

5 分析と改善策

【2学年】

国語	分析	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く問題については、県平均をやや上回っていた。 ○表現の仕方に注意して読み、その効果を理解することは、おおむねできていた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することに課題がある。 ●文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題がある。
	継続内容と改善点	<ul style="list-style-type: none"> ☆漢字や語句の定着に向けて、小テストの実施を継続して行うことで、家庭学習の習慣化とともに、基礎基本のさらなる定着を図ります。 ☆課題作文の演習に取り組む時間を増やし、自分の考えを的確に表現する力を伸ばしていきます。 ☆文章の要約や文章と図表の関係を捉え、分かりやすく説明する活動を取り入れていきます。 ☆ワークシートなど考えを可視化する工夫を行い、「読む力」の充実につなげていきます。
数学	分析	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一次式の計算や一元一次方程式を解く問題については、理解できている生徒が多かった。 ○データから必要な情報を読み取る問題では累積度数や相対度数を求めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一次方程式の文章題では、数量に着目して方程式をつくることや、解が問題に合っているか判断し、説明できることに課題がある。 ●関数では、グラフを比較し、問題解決の方法を数学的に説明することについては課題がある。
	継続内容と改善点	<ul style="list-style-type: none"> ☆小テストや単元テストを通して式の計算や連立方程式、立体の体積や表面積の計算などの基礎的な知識や技能の定着を図ります。 ☆関数については、文章から必要な情報を抽出し、課題解決ができるようにするために、表、式、グラフを関連付けさせながら解決方法を説明する活動を取り入れます。 ☆タブレット PC を活用し、平面図形やグラフの特徴を捉えさせ、数学的な表現を用いて問題解決する活動を取り入れます。

【1学年】

国語	分析	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目的や意図に応じ、取材内容をもとにして、自分の考えをまとめる問題は、県・全国平均を上回っていた。 ○図表やグラフを用いた目的を捉え、必要な情報を見つけることはおおむねできていた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●わかったことや考えたことを整理し、それらを関係づけながらまとめて書くことに課題がある。 ●小学校5、6年の漢字をおおむね正しく使うことはできていたが、主語や接続語などの文の中における働きを捉えることに課題がある。
----	----	--

	継続内容と改善点	<ul style="list-style-type: none"> ☆書かれた内容を正確に理解したり自分の考えなどを適切に表現したりする力を養い、日常生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高めています。 ☆漢字や文法などの小テストを継続し、語彙数を増やすとともに、言語感覚を豊かにします。 ☆文章中から必要な情報を読み取る力については、朝読書や新聞タイムの取り組みによる成果と考えています。今後は、さらに自分の考えをまとめ、的確に相手に伝わるように書く活動を今まで以上に取り入れていきます。特に、資料を活用する問題は、説明する力が求められており、全ての教科に共通する課題のため、取り組みを強化していきます。
数学	分析	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○分数の計算や分数の文章問題を表した図を読み取る問題については、理解できている生徒が多かった。 ○示された部分の面積と等しい面積が示されている図形を選ぶ問題については、県平均を上回っていた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文章問題については、示された条件から出てきた答えが状況にあっているかを説明することに課題がある。 ●データの活用については、棒グラフや円グラフから必要な情報を読み取り、数学的に説明することに課題がある。
	継続内容と改善点	<ul style="list-style-type: none"> ☆復習や小テストを適宜回数を増やし、基礎的な知識・技能の定着を図ります。 ☆自分の考えを言葉にして説明する力を養うために、生徒同士の教え合いの活動を積極的に行います。 ☆関数については、日常の事象の問題を数学的思考を用いて解決し、その方法を説明する活動を取り入れます。

6 生徒質問紙(アンケート)について

アンケートの結果の一部を取り出して、お知らせいたします。

質問項目	県平均との比較
①自分には、良いところがあると思いますか。	上回っている。
②将来の夢や目標を持っていますか。	上回っている。
③家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	下回っている。
④学校の授業時間以外に、平日、1日1時間以上、勉強をしますか。 (学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む)	下回っている。
⑤地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	上回っている。
⑥学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	上回っている。

＜家庭学習について＞

○学習に対して、生徒たちは将来、社会に出たときに役に立つといった必要性を感じているが、家庭での学習時間が少なく、また自分で計画を立て、勉強することは不十分であることがわかります。

＜将来について＞

○自分には良いところがあるといった自尊感情は高いことがわかります。また、人の役に立つ人間になりたいという生徒が多く、将来の夢や目標を持つ生徒が多いこともわかります。

○地域や社会をよくするための行動を考えている生徒が多く、級友との話し合いから自分の考えを深めようとする探求心もあり、コミュニティ・スクールとしての取り組みが活かされています。